

岡山県肢体不自由児者福祉協会だより

第11号 令和(2020)2年3月1日 発行

〒700-0807 岡山市北区南方 2-13-1 きらめきプラザ 1F

TEL&FAX 086-222-9018 E-Mail okasifuku@kirameki-plz.Com

<http://okasi.michikusa.jp/>

事務局 水、木 9:30~16:30

岡山肢体

検索

岡山県肢体不自由児者福祉協会会員の皆様へ

『令和2年』明けましておめでとうございます。

って つい先日言ったような!?・・・でも、もう3月。

1月は行く。2月は逃げる。3月は去る。昔から言われた通り、ほんとにそうだと感じる今日この頃。

会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか?

今年に入って、私たちに降りかかってきた新型コロナウイルス。毎日、テレビなどでニュースにならない日は、ありませんね。すごく心配されている方や、そうでもないと思っている方、人それぞれですが、まずは、自分たちで注意できることから始めませんか?

今言われているのは、

『不特定多数の人が集まる場所に行かない』

『帰ってきたら手洗いをしっかりする。』

それが毎日できる対策とされています。

～手洗いの方法～

- ① 手のひら、手の甲をしっかりと洗う
- ② 指先をしっかりと洗う
- ③ 指を一本ずつ、ねじり洗いをする
- ④ 手首をねじり洗いする

「この手順で洗うと、手慣れた人でも40秒
ぐらいはかかります。

丁寧に手洗いすると、99%程度の汚れは落
ちるといわれています」

情報提供/OHK Live news 614 より



- 風邪の症状や 37.5 度以上の発熱が 4 日以上続いている。
- 強いだるさや（倦怠感 けんたいかん）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

このような症状がある人は「帰国者、接触者相談センター」にご相談下さい。

新型コロナウイルスについて県の一般的な相談窓口

新型コロナウイルス感染症電話相談窓口

☎ 086-226-7877 Fax 086-225-7283

平日／午前 9 時～午後 9 時 土、日曜、祝日／午前 9 時～午後 5 時

帰国者、接触者相談センター 24 時間対応

施設名	電話番号	所管の市町村
岡山市保健所	086-803-1360	岡山市
倉敷市保健所	086-434-9810	倉敷市
備前保健所東備支所	0869-92-5180	赤磐市、備前市、和気町
備中保健所	086-434-7072 (平日午前 9 時～午後 5 時) 086-434-7024	早島町、総社市

(上記以外)

今年度も色々な行事がありました。

5月に岡山支部の**総会**

6月に倉敷支部の**総会**

☆ 2019年7月7日(日)

岡山県肢連主催の県内保護者研修会

演題『与えられた課題を生かす』～日常にコーチングを生かす

講師に NPO 法人岡山コーチ副理事長の寺崎光宣(てらさきみつひ)さんをお招きしました。

※ 「コーチング」とは、目標達成パフォーマンスの更なる向上を目指して、対象者を勇気づけやる気を引き出し、自発的な行動を促すコミュニケーションスキルです。具体的には、質問を投げかけ、考えてもらうことによって答え(取るべき行動)を明らかにしていきます。

♪ 参加者の感想(Kさん)

私には少し難しかったように思います。あまり理解できませんでした。

自分にできるのかな?と感じました。

☆ 9月1日(日)

県内保護者研修会「みんなでヨガを楽しもう」(早島支援学校体育館) 1回目

講師『社会教育関係団体「リトル・サン」代表者「杉山梢先生」』

監修のもとヨガを楽しみました。

♪ 参加者の感想(J.Tさん)

家族で参加させていただきありがとうございました。学校を卒業し妹たちも障がい者の方と触れ合う事も少なくなり本人も、このような会に入れたことが安心となったと思います。ヨガもリラックスした中で体験させていただきありがとうございました。

☆ 9月14日(土)～15日(日)

第52回全肢連全国大会 福島県郡山市

テーマ「平時と災害時における障がい者への配慮を切れ目なくつなぐ」

～求められる地域力～

宮本会長、西田さん、山磨さんの3人が参加しました。

近年、災害がいつ起こるか判らないような状態の中で各地の県の方達が工夫したりしていることなどの意見を交換出来て、勉強になったようです。

お疲れさまでした。

☆ 9月28日(土)

さわやかレクレーション（岡山支部）

「スマホやタブレットの活用教室」

テーマ 『見る』

♪ 参加者の感想（Iさん）

肢体不自由の方々と、LD等障害のある方々、障害は違っていてもよく話し合ってみると困りごと悩みに共通点があります。その共通点を見つけ出して、一緒に考え解決策を見つけ出して、みんな気持ちよく、楽しく生きていこうをテーマにこの企画に協力しました。

テーマは 「見る」

「見る」はすべてのスタート、人と人が出会い、親しくなるための第一歩も「見る」です。この「見る」を有効に使える、もっと楽しくコミュニケーションができるのではないかと考えました。

まずは、講師の近藤先生が、日々生徒さんと接するとき、どんなふうにどこを見て、そこから何を考え、どう広げていっているか・・・というお話から始まり いろいろな角度からどんなふうに「見る」のかを学びました。

絵をかいてと言われると、苦手と思っている人はどう書いていいかわからない。でも絵を単純化して、各順序を示したり、「まず卵の形を描いて」等とイメージしやすい言葉を添えるとみんなが書けるようになる。「よく見て書きましょう」ではなく どこをどんなふうに見ればよいかを具体的に示すことが大事なのだと感じました。ついつい「ちゃんと見たの?」「よく見てよ」と言いがちですが 見るポイントを判りやすく伝えることをしないで、見てないと怒ってしまっているのではないかと反省しました。

講演後には、ハンドアーチェリーを体験させていただき 大人も子どもも夢中になって楽しみ、景品もいただきありがとうございました。楽しいひと時でした。

☆ 10月12日（土）

第50回 中、四国ブロック肢体不自由児者父母の会連合会（愛媛大会） 松山市道後

テーマ「十年後までに障がい者の働き方改革を実現し、一般就労が当たり前の社会に」

♪ 参加者の感想（K, Nさん）

令和元年10月12日、一週間前から台風の進路が四国、岡山を直撃する予報でしたが、やや進路がそれて大会は無事開催されました。当日本四連絡橋が渡れるのかと心配しながら宮本会長とともに、山磨さんの運転で松山に向かいました。

第50回中四国ブロック愛媛大会のテーマは「10年後までに障がい者の働き方改革を実現し、一般就労が当たり前の社会に」でした。基調講演は全国テレワーク推進ネットを立ち上げ、四国でテレワークをコーディネートしている川崎壽洋さん。今では29人の障がい者が利用登録されてテレワークで働いているそうです。シンポジウムでは三人の当事者の方のお話を聞きました。50代の藤本さんは支援学校卒業後25年間印刷会社で働かれた後、現在は就労A型事業所で働いておられます。20台の車いすで生活する井上梢さんは支援学校卒業後、就労支援A型でテレワークで在宅で働いておられブログ業務やPR記事、データ入力などをされているそうです。体は疲れるけれど、障害があっても働くのが楽しいと、言われていたのが印象的でした。高校生の時事故で頸椎損傷となり首より下の麻痺がある山川美咲さんは、事故後「呼吸器を外す」「普通の車いすに乗る」「大学に通う」と、目標を立ててリハビリを進めていったそうです。大学で社会福祉士の勉強をして資格を取りました。大学生活の努力を見てくれていた事業所さ

んが「何を支援すれば働けるかわかっている」と言ってくれ、今ではそこで働いているそうです。障害があると移動や環境等がバリアになってしまいますが、テレワークや障害をサポートすることで働き方がさらに広がってほしいと思いました。



☆ 11月10日(土) 県内保護者研修会 (岡山県肢連)

演題 「傷害のある子の親なきあと」・・・成年後見制度とは？

梶野相談サポート&コンサルティング(株)代表取締役 梶野雅章さん

♪ 参加者の感想 (M・Aさん)

我が子のこともあり気になる演題でした。なかなか難しい制度でした。いつ取り組めばよいのか、ということなのか？最初は難しすぎて。でも何度か聞いていくうちに少しずつですが理解できました。また今度聞いたら今回よりも理解できるような気がします。

♪ 参加者の感想 (H・Oくん)

成年後見制度という言葉は知っています。大学の時に習いましたから。でも、親がいなくなったらとか現実には考えられないし難しかったです。まだずっと先のことのように感じました。でも確実にお世話にならなければいけないと思うので、これからこういう講習会があったら参加して何回も聞いてみないとわからないと思いました。ごめんなさい。まだ実感がわきませんでした。

☆ 11月30日(土)

中・四国ブロック地域指導者育成セミナー (広島県)

テーマ 「肢体不自由児者への合理的配慮とは」
～災害時の住まいについて～

宮本会長、西田さん参加

またの機会にいろいろお話をお聞きしたいと思います。

☆ 2020年2月29日(土)10～12時 2回目

県内保護者研修会 きらめきプラザ7階706号会議室

「介護の基本と工夫 2」

講師:貝原由利子氏

理学療法士、ヨガトレーナー、ヨガ療法士

♪ 参加者の感想 (H・Nさん)

今回の研修会は新型コロナの影響もあって、7人という少人数でした。「すくないな～。でもこのご時世仕方がないよね。」心の中では、そんなことを思いながら研修会が始まりました。ヨガというと難しいようなイメージを私は持っていたのですが、理学療法士である貝原先生は、障害があっても無理なく、小道具などを使って楽しんで簡単にできるんだと驚かされました。動かない手のマッサージの仕

方、動かし方とか介護をするときの姿勢など、いろいろと我が子のことで困っている体勢について予防方法などいろいろ教えていただきました。障害を持った方も参加されていたのでその方を通してどのように接して手伝ったらよいかなど教えていただきとてもためになりました。是非今度は、ほかの方もお誘いしたいです。また研修会よろしく申し上げます。楽しかったです。

ほかにも各支部にて、

倉敷支部 ハンドアーチェリーやクリスマス会などがありました。

岡山支部 岡山市障害者団体連合会体育祭や岡山市障害者福祉大会、バス旅行などがありました。

バス旅行は、今年度は広島県福山市鞆の浦のほうでした。少し船に乗って島へ渡ってご飯を食べたり帰りには、かまぼこのお店に寄ったりと、のんびりした時間を過ごしました。

編集後記

三寒四温といいますが、桜や花たちは、春を告げてきています。菜の花や、土筆も出てました。わからないことや困ったことがありましたら、誰かに相談しましょう。三人寄れば文殊の知恵といえますよ！協会で相談日を設けております。頼りにしてね。今回の協会日より、もっと早くみたいとのご指摘を受けちゃいました。次回はもう少し早めに出せるように頑張ります。いろいろ載せてほしいこと、調べてほしいことなどがありましたら、事務局までご連絡ください。よろしく申し上げます。ではまた。

